

PRAGUE

PHILHARMONIA

プラハ・フィルハーモニア管弦楽団

音楽の街プラハの精鋭たちが奏でる、鮮やかなボヘミアの響き
俊英、宮田大を迎えて贈る、魂を揺さぶる至高の名曲

ボヘミアの大地を自由に歌う
深みを増す宮田大のドヴォルザーク！

チェロ：宮田大

Dai Miyata, Cello

©日本コロムビア

チェコを代表するベテラン指揮者が
躍進を続ける、気鋭のオーケストラと来日！

指揮：レオシュ・スワロフスキー

Leoš Svárovský, Conductor

©David Christian Lichtag

スメタナ

Smetana

交響詩「わが祖国」より《モルダウ》

Vltava from "Má Vlast"

ドヴォルザーク

Dvořák

チェロ協奏曲 ロ短調 Op.104 (チェロ：宮田大)

Cello Concerto in B minor, Op.104

ドヴォルザーク

Dvořák

交響曲第9番「新世界より」ホ短調 Op.95

Symphony No.9 E minor Op.95 "From the New World"

2025年10月10日(金) 18:30開演 (17:50開場) 栃木県総合文化センターメインホール

S席13,000円 A席9,500円 B席7,000円 C席5,000円 あしぎん未来シート2,000円(税込)

栃木県総合文化センタープレイガイド(営業時間10～19時)

電話予約 028-643-1013(発売初日は14時～)

インターネット受付 <https://sobun-tochigi.jp>(24時間)

チケットぴあ/イープラス/ローソンチケット

あしぎん未来シート(U25)

・満25歳以下(開催日時点) ・4/23(水)より栃木県総合文化センタープレイガイドにて販売。

・A、B席エリアより選択可。・130席限定。予定枚数に達し次第販売を終了します。

■主催：光藍社、公益財団法人とちぎ未来づくり財団 ■特別協賛：足利銀行 ■後援：チェコ共和国大使館

お問合せ：公益財団法人とちぎ未来づくり財団 文化振興課 028-643-1010(平日8:30～17:15) 〒320-8530 栃木県宇都宮市本町1-8 栃木県総合文化センター内

光藍社チケットセンター050-3776-6184(12-16時/土日祝休み)

光藍社WEBでのお申込みはコチラ▶

<https://www.koransha.com/>

光藍社チケットセンター050-3776-6184(12～16時/土日祝休み)

4/23(水)一般発売開始 3/26(水)光藍社WEB先行開始

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

※やむを得ない事情により出演者、曲目等が変更になる場合がございます。



芳醇な響きと躍動感に満ちたオーケストラ、 プラハ・フィルハーモニア管弦楽団が4年ぶりの来日！

チェコのオーケストラは独特の魅力を有している。それは、距離も近い音楽の都ウィーンに通じる中欧の香りと、いぶし銀のような東欧のテイストを併せ持った、温かくまろやかなサウンドだ。柔らかくしなやかな弦楽器と瑞々しい管楽器が織り成す芳醇でコクのある演奏は、まさしく唯一無二。中でも、古都の風雅さやボヘミア地方の空気感を反映したプラハのオーケストラは、日本人にある種の懐かしさを与えてくれる。

こうした伝統の強みに、清新な活力、柔軟な対応力、完璧な機能性を加えた、「チェコの今」を代表するオーケストラが、プラハ・フィルハーモニアである。

1994年に名指揮者イルジー・ビエロフラーヴェクによって創設された同楽団は、この巨匠の先導で強固な礎を築き、2008年から15年まで首席指揮者を務めたヤクブ・フルシャのもとで大きく躍進した。

その後さらなる熟成を加えた今回は、現在のチェコにおける最高クラスの演奏が披露されるだろう。旋律美と迫力に溢れたドヴォルザークの交響曲第9番「新世界より」、そして宮田大が演奏するチェロ協奏曲は、雄大な音楽の中に朗々とした歌が展開される同分野屈指の傑作だ。心を揺さぶる演奏に期待が高まる。哀愁と情緒豊かな至高の名曲が揃う、本公演をどうぞお聴き逃しなく。

柴田克彦(音楽評論家)



プラハ・フィルハーモニア管弦楽団 Prague Philharmonia

1994年に世界的な指揮者、故イルジー・ビエロフラーヴェク(1946-2017)主導のもと創設され、今日ではチェコのみならず国際的に高い知名度を誇るオーケストラとなった。このオーケストラを創設したビエロフラーヴェクは2005年より桂冠指揮者となり、2005年からはカスパー・ツェンダーが首席指揮者を務めた。その後2008年からチェコ出身で国際的に注目を集めるヤクブ・フルシャが首席指揮者、音楽監督に就任、2015年からはエマニュエル・ヴィヨムが率いている。いつも新鮮で活気に満ち、完璧主義であることが、創設時から刻まれるこのオーケストラの精神であり、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンなどのウィーン古典派作品を核として取り組むことで得た独自の多彩な表現力が高い評価につながっている。ヴェンゲーロフ、マイスキー、イザベル・ファウスト、パユ、カウフマン、ネトレブコなど世界的なソリストと定期的に共演、海外ツアーや音楽祭への招待も多く、グラモフォン、デッカなど著名なレーベルより90タイトル以上のCDをリリースし多くの賞を獲得している。チェコの作曲家の作品にも積極的に取り組み、特にマルティヌーの作品を得意としている。

©David Christian Lichtag



レオシュ・スワロフスキー(指揮)

Leoš Svárovský, Conductor

プラハ音楽院でフルートを学んだ後、ヴァーツラフ・ノイマンの下で指揮法を学ぶ。チェコ国立歌劇場でズデニェク・コシュラーのアシスタントを務めた後、プラハ室内歌劇場、ヤナー・チェク・フィル、ブルノ・フィル、スロヴァキア・シンフォニエッタ、プラハ国立歌劇場などの首席指揮者を歴任。プラハ国立歌劇場では芸術監督も務めた。現在はスロヴァキア・フィルの首席客演指揮者、セントラル愛知交響楽団の名誉音楽監督、ブルノ・フィルの名誉会員を務めている。これまでにシュターツカペレ・ドレスデン、ザルツブルク・モーツァルテウム管、シュトゥットガルト・フィル、チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ、東京都交響楽団等に客演。世界的なソリストと多数共演するほか、「プラハの春」、「モラヴィアの秋」を始め、数多くの音楽祭へ出演している。チェコにおいてはチェコ・フィル、プラハ・フィルハーモニア、プラハ放送響、ブルノ・フィルなど主要な管弦楽団と共演を重ねており、チェコを代表する指揮者の一人となっている。

©日本コロムビア



宮田大(チェロ)

Dai Miyata, Cello

2009年ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールにおいて、日本人として初めて優勝。これまでに参加した全てのコンクールで優勝を果たしている。その圧倒的な演奏は、作曲家や共演者からの支持が厚く、世界的指揮者・小澤征爾にも絶賛され、日本を代表するチェリストとして国際的な活動を繰り広げている。

トーマス・ダウスゴー指揮、BBCスコティッシュ交響楽団との共演による「エルガー：チェロ協奏曲」の欧米盤が、欧州のクラシック界における権威のある賞の一つ「OPUS KLASSIK賞2021」を受賞するなど、海外からの評価も高まっている。スイスのジュネーヴ音楽院卒業、ドイツのクロンベルク・アカデミー修了。

使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与された1698年製A. ストラディヴァリウス「Cholmondeley」である。

【ご注意とお願い】 ※チケットをご購入の際は、あらかじめ下記のことをご了承くださいますようお願い申し上げます。

■記載されている情報は2025年3月現在の予定です。諸般の事情により出演者、公演内容が変更になる場合がございますが、公演中止など、主催者がやむを得ないと判断する場合以外のチケットの払い戻しはいたしません。最新の情報については光藍社ホームページ(<https://www.koransha.com/j/>)にて発表しますので、チケットご購入後は、随時ご確認ください。■未就学児のご入場はご遠慮ください。■チケットご購入後の変更・キャンセルはできませんので、予めご了承ください。■主催者の同意なくチケットを有償で譲渡することは禁止します。■会場内における飲食、喫煙はご遠慮ください。■写真撮影、録画、録音等は一切禁止させていただきます。■開演後のご入場は制限させていただきます場合がございます。■公演中は、他のお客様のご観覧の妨げになる行為(話し声、過度なブラボーなどのお声掛け)はお控えください。■注意事項をお守りいただけない場合、主催者側の判断でご入場のお断り、または途中退場をお願いする場合がございます。